

【研究概要】

当院精神科病棟では、自殺企図歴や再入院歴のある患者の退院前にクライシス・プランを作成している。しかし、退院後地域生活において1カ月以上にわたりクライシス・プランを継続的に実践していたのは、作成者8人のうち3人にとどまっていた。この現状から、退院後の地域生活において、患者がクライシス・プランをどのように実践しているのか、実践に至らなかった要因を明らかにする必要があると考え、精神科病棟を退院した患者の語りから地域生活におけるクライシス・プランの活用の実態とその困難要因を明らかにする。